

授業概要

急速に変化する今日の貿易環境の中で企業が明日に向かって引き続き成長していくためには、環境の変化を先取りし、中長期に立った国際流通戦略をいかに体系的に構築・運営できるかが企業の早急の課題になる。従って、本授業では、国際流通及びロジスティクスの基礎概念を考察することによって、今後求められる国際流通論の在り方を明らかにするのが目的である。

授業計画

第1回	国際流通の基礎概念Ⅰ
第2回	国際流通の基礎概念Ⅱ
第3回	ロジスティクスの基礎概念
第4回	国際流通の現代的特徴
第5回	国際海上輸送
第6回	航空貨物輸送
第7回	国際複合輸送
第8回	コンテナ貨物と通関業務
第9回	輸入物流現状と課題
第10回	国際物流情報システム
第11回	国際物流とフォワーダー業務
第12回	グローバル・ロジスティクス戦略
第13回	国際流通政策Ⅰ
第14回	国際流通政策Ⅱ
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

国際流通及びロジスティクスに関する基礎概念、担い手、機能、領域を理論と事例の両面から総合的に考察することによって、国際流通理論の体系化とその対応課題を戦略的に診断できる知識の獲得を到達目標とする。

履修上の注意

全講義回数（期末試験を含む）の3分の2以上出席したのに対して期末試験の受験資格が与えられる。ただし、大学が認める認欠に対しては手続きもしくは書類が提出されたものは認める。特に、遅刻は講義開始10分以内の入室を認めるが、2回で1回の欠席とする。また講義中、私語により他の受講者に迷惑をかけるものは退室させることがある。

予習復習

事前に配布したレジュメと流通関連記事を読んで学習すること。特に講義の進め方は、黒板にレジュメの要点を板書きし解説しますので、毎回の講義の内容を理解すると同時に各自ノートを作成することが必要である。なお、復習するときにはキーワードを中心にチェックし再確認することが望まれる。

評価方法

期末試験(60%)、レポート(30%)、授業への意欲・態度(10%)の割合で評価する。

テキスト

授業において資料を配布する。